19位の低調な走りに沿道か「思うようにいかないとき」で銅メダル。夏の走り込み

佐賀工73点発進

全国高校ラグビー

第97回〈第3日〉

《毎日新聞社主催》（30日　東大阪市・花園ラグビー場）

2回戦16試合が行われ、36年連続46度目出場の佐賀工が東海大静岡翔洋（静岡）に73―0で快勝し、24大会連続で初戦突破した。FBの安永真斗尉（2年）が2トライの活躍を見せた。2連覇を狙う東福岡は68―7で昌平（埼玉）に完勝。長崎南山、大分舞鶴、熊本西はそれぞれ敗れた。

安永真斗尉（まとい）“火消し”2T

＜佐賀工・東海大静岡翔洋＞後半1分、トライを決める佐賀工・安永

（撮影・北條　貴史）

大黒柱FB・松浦負傷欠場のピンチ

東海大静岡翔洋（静岡）　佐賀工（佐賀）

佐賀工 73―0 東海大静岡翔洋（35―0）（38―0）

後	前		前	後
6	5	T	0	0
4	5	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
（6		反		5）

東海大翔洋		佐賀工
久保田③	FW	石川大③
上柳③		大塚③
岡本③		谷口③
滝③		山内③
小森③		山崎③
中野③		中尾③
荒井③		松田❸
佐藤❸		桑島②
松浦②	HB	山田②
山川③		仲西③
保竹③	TB	水間②
田島③		小柳③
望月③		矢野②
稲名③		坂井③
保崎③	FB	安永②

▽入れ替え【佐】松田→桑島②、谷口→石川空①、石川大→中村②、大塚→高武②、山田→平尾②、小柳→三良①【東】岡本→孫入①

24大会連続初戦を突破

役割をしっかり果たした。計11トライで24年連続の初戦突破を決めた佐賀工で光ったのは、2年生FBの安永だった。

7人制ラグビーのユース日本代表、高校日本代表候補の3年生FB松本が負傷のため欠場。安永は代役としてスタメンで起用されることを、この日の朝に知らされた。ベンチ外となった松本からは「しっかり頑張れ！」と励まされ、「しっかり頑張ってきます！」と返して、初めて花園の舞台を踏んだ。

見せ場は後半1分。ハーフウエーライン上の左ラックから右に展開し、50㍍の独走トライを決めた。同6分にも右中間にトライを決めるなど、2トライと活躍。「ボールを持った時のランプレーがしっかりできた。うれしい」と声を弾ませた。

江戸時代の消防隊旗印が由来 名前通りの人助け

名前の真斗尉（まとい）は、江戸時代に町火消しが用いた旗印の一種の「纏」から名付けられた。「人助けをする人になってほしい」という両親の思いが込められている。フランカーの松田主将は「ひたむきにプレーしてくれて不安材料なく戦えた」と名前通りの活躍に感謝した。

◇全国高校ラグビー大会の連続初戦突破記録◇

順	学校	（県）	連続勝利数と期間
①	大分舞鶴	（大分）	25大会連続86～10
②	佐賀工	（佐賀）	24大会連続94～
③	日川	（山梨）	20大会連続78～97

佐賀工は6大会ぶりにシードされ、2回戦からの登場。24年連続の初戦突破は、大分舞鶴の25年連続に次いで歴代2位だ。「西のシードをいただいている以上、ベスト8以上を目指し頑張りたい」と松田。次戦は国学院久我山（東京第2）とのシード対決。この勢いで関東の強豪もなぎ倒す。（杉浦　友樹）

長崎南山（長崎）　目黒学院（東京第1）26―20

見せた

東福岡（福岡）　昌平（埼玉）

連覇

花園初

〈神奈川

春の選抜が、意外

飯田（長野）　桐蔭学園（神奈川）